

外国人技能実習生の現状と カトリック教会の取り組み



今、日本には300万人を超える外国人、外国にルーツを持つ人々が暮らしています。外国人労働者として働く人たちは170万人で、そのうち、技能実習生の数は37万人を超えます。技能実習制度のもとで来日した実習生たちは、農業や漁業、建設業、介護などの人手不足の産業を支える労働力として日本社会にとって欠かせない存在となりました。全国各地のカトリック教会でも、ベトナム人の若い技能実習生たちに出会う機会が増えています。

一方で、日本の技能実習制度のもとでの低賃金、長時間労働、中間搾取、暴力、強制帰国などの人権侵害も多く報告されています。そのため技能実習制度は、国際社会からも人身売買の温床、現代の奴隷制度などと批判され、国連などからも度重なる制度の改善勧告を受けてきました。このような制度のもとで働く彼らは、どのような生活を送っているのでしょうか。またコロナ禍は、彼らにどのような影響を与えているのでしょうか。

今回の学習会では、技能実習制度の構造や、技能実習生が置かれている現状、カトリック教会での技能実習制度への取り組み、コロナ禍での技能実習生支援の取り組みなどについて学び、私たちがそれぞれの現場でできることについて一緒に考えていきたいと思えます。

講師 山岸素子さん

日時 2022年5月14日(土)

14:00~17:00

定員 40名(先着順)

場所 カトリック河原町教会

ヴィリオンホール

(京都市中京区河原町三条上がる)

参加費 無料

【講師プロフィール】

1990年代より外国人移住者の支援にかかわる。現在、日本カトリック難民移住移動者委員会(JCaRM)委員、NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長、カラカサン〜移住女性のためのエンパワメントセンター共同代表、立教大学非常勤講師などを兼任。

申込書

主催・申込先

京都教区カトリック正義と平和協議会

電話 075-366-6609・FAX075-366-6679

(月・火・木曜日 10:00~17:00)

e-mail-seiheiky@kyoto.catholic.jp

お名前

連絡先住所

電話・FAX

メールアドレス

所属教会

* 個人情報は当該学習会以外には使用しません。